

愛 川 町 教 育 委 員 会

令和 6 年 1 0 月 2 2 日

愛川町教育委員会 10月定例会会議録

- 1 会議日程 令和6年10月22日（火）
午前9時00分から午前10時28分
- 2 会議場所 愛川町役場201会議室
- 3 議事日程 日程第1 会議録の承認について
日程第2 教育長報告事項について
（1）教育長報告
日程第3 教育委員会の点検・評価について
- 4 出席委員 教 育 長 佐 藤 照 明
教育委員（教育長職務代理者） 齊 郷 浩 之
教育委員 梅 澤 秋 久
教育委員 篠 崎 美 和
教育委員 袖 山 浩 一
- 5 説明を要した者及び議事録作成のため出席した者
教育次長 亀 井 敏 男
教育総務課長 宮 地 大 公
指導室長兼教育開発センター所長 瀧 喜 典
生涯学習課長 小 山 文 利
スポーツ・文化振興課長 井 上 守
教育総務課副主幹 前 田 幸 寛

○（宮地教育総務課長） それでは、本日の会議に当たりまして、傍聴希望者がお一人お見えになっております。教育委員会では、法律の定めにより会議を原則公開としておりますが、傍聴希望者の入室については、会議の冒頭で委員の皆様の許可を得た後に行うこととしてお

りますので、お諮りをさせていただきます。

本日の議題については、特に非公開とするような内容ではないと思われますので、傍聴を許可したいと思いますが、ご異議ございませんでしょうか。

(「異議なし」との声あり)

○(宮地教育総務課長) ご異議ないものと認めます。

よって、本日の会議は公開といたしますので、傍聴者の方を入室させてください。

傍聴者の方に申し上げます。お配りいたしました「傍聴を希望される方へのお願い」によりまして傍聴をお願いいたします。

また、会議次第以外の資料につきましては、閲覧用となっておりますので、会議終了後に回収をさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

それでは、教育長、よろしくお願いいたします。

◎開会

○(佐藤教育長) それでは、改めまして、皆さんおはようございます。

10月の定例会ということで、お忙しい中、お集まりいただきましてありがとうございます。

それでは、本日の出席者は5人であります。定足数に達しておりますので、愛川町教育委員会10月定例会は成立いたしました。

よって、これより開会いたします。

本日の議事日程はお手元に配付のとおりでありますから、ご承知願います。

これより日程に入ります。

◎日程第1

○(佐藤教育長) 初めに、日程第1、会議録の承認についてを議題といたします。

8月定例会、8月27日開催分及び9月定例会、24日の開催分でございますので、会議録については事前に配付のとおりであります。

これより質疑に入ります。

ご意見、ご質疑がありましたら発言をお願いいたします。

(発言する者なし)

○(佐藤教育長) 特によろしいでしょうか。

(「はい」との声あり)

○（佐藤教育長） 質疑ありませんので、質疑を終結し、表決に入ります。

日程第１、会議録の承認についてであります。本案を原案のとおり承認することにご異議ございませんか。

（「異議なし」との声あり）

○（佐藤教育長） ご異議ないものと認めます。

よって、日程第１は原案のとおり承認されました。

なお、本定例会終了後に会議録署名原本をお回しいたしますので、委員の方は署名をお願いいたします。

◎日程第２

○（佐藤教育長） 次に、日程第２、教育長報告事項についてを議題といたします。

初めに、教育長報告について、資料１に基づき、私から報告をいたします。

令和６年９月２４日から１０月２１日までの間に出席いたしました主な会議等について報告をさせていただきます。

９月２４日、教育委員会定例会、全員協議会。

２５日が町議会本会議の６日目、採決がございました。

２６日、中津第二小学校の校長先生が来室をされました。

町中学校校長会の予算要望、会長、副会長が見えられました。

２７日、大和市の教育長さんがご退任されるということでご挨拶に来られました。

２９日、第２２回のラビンプラザまつりがありましたので、午前中、参加をいたしました。

３０日、清川村の教育長さんを訪問いたしました。

午後、町ＰＴＡの予算要望がありまして、会長さん、副会長さんがお見えになりました。

１０月１日、袖山委員さんの辞令交付式がございました。

２日、厚木市の教育長さんが再任されるということでご挨拶に来られました。

３日、半原小学校の校長先生、研究主任の先生、それから、担当の先生もいらっしゃいました。３名で理科教育賞の受賞報告ということで来室されました。神奈川新聞の１６日に載っていましたので、見られた方もいらっしゃるのではないかと思います。未来型の授業としてＩＣＴを生かした課題解決学習を進めたことによる賞で、書類選考で、書類のほうの報告でまず入選して、その後、４校がプレゼンに進んで、そのプレゼンの中で実質２番ということで、１位が大賞で２位が教育賞ということになるようですが、理科教育賞を受賞されたと

いうことで報告がありました。

それから、4日、町表彰審査委員会がありましたので参加をいたしました。

神奈川県 の 町村教育長会、秋の総会、幹事会、懇親会が本町でありましたので、参加をいたしました。

5日、愛川町華道協会の40周年記念華展がございましたので、行ってまいりました。

6日、第52回愛川町少年少女剣道大会が第1号公園体育館でありましたので、参加をいたしました。やはりお話を聞くと剣道をやる子どもたちの数が減ってきているということで、9年前に参加したときには50人を超えていた小学生が、半数ぐらいになっているという状況もございまして、各団体で子どもたちの勧誘についてはいろいろ工夫されているところでございますけれども、そういう中でも協会の方が非常によく頑張っていらっしゃって、剣道に子どもたちが引き続き取り組んでいるという状況でございます。

中津第二小学校の運動会、延期で本日になりました。

それから、第1回のふれあい秋祭りが六倉区でありましたので、参加をいたしました。こちらは初めての試みということで、公民館まつりの縮小版みたいな感じで地区の方が集まって、ステージを造って発表をしたり、出店が出たりとか、そのような状況でした。

田代区の文化展もありましたので行ってまいりました。これもやはり展示がメインで取り組まれておりましたけれども、地域のかかなり多くの方が参加をしてくれたというふうに区長さんが言っていました。

7日、臨時行政経営会議がございました。

午後、SC相模原ホームタウンデーチケット寄贈式ということで、500人分の無料チケットを寄贈していただきましたので、今、スポーツ・文化振興課のほうで取りまとめをしていると思いますけれども、希望者は無料で入れるということで、これも愛川町の中の企業さんが出資してくれて、本町民に無料で配付するという形のものでございます。

10日、地方教育行政功労者表彰式ということで、年数が長いせいか私がいただきましたので参加をしてまいりました。全国で150人ぐらいの方が受賞されたというようなことでございます。

11日、予算編成会議がございました。

県央教育事務所の所長、副所長へ挨拶に行行ってまいりました。

13日に、スポーツレクリエーションフェスティバルということで、第1号公園で行われました。天気もよく、少し暑い感じでしたけれども、延べ6,000人近くの方が参加をしていた

だきましたので、そういう面ではとてもよかったかなというふうに思っています。

15日、町小学校長会の予算要望、会長、副会長さんが見えられました。

16日、小中教頭会議。

それから、大和市の新しく就任された教育長さんが見えられました。

JICAの滝坂先生が中津小学校のインクルーシブ教育の関係についてお話に来られました。

17日、県社会教育協会の愛甲支部の懇親会がありましたので、参加をいたしました。これは社会教育主事の先生方の集まりの会でした。

19日が中学校の文化発表会で、町内3校を回ってまいりました。

ふるさとまつりの文化展、午後に文化会館で行われていましたので参加をいたしました。

20日、第38回の愛川町ふるさとまつり、朝から天気が心配でしたけれども、雨の関係は全く問題なく、全てのブースで大変多くの方が参加をされておりました。

以上でございます。

それでは、これより質疑に入ります。

ご意見、ご質疑ありましたらお願いいたします。

(発言する者なし)

○(佐藤教育長) よろしいでしょうか。

よろしいですね。

それでは、特にご質問ありませんので、教育長報告については了承願います。

◎日程第3

○(佐藤教育長) 次に、日程第3、教育委員会の点検・評価についてを議題といたします。

それでは、内容について、資料2に基づき、担当からご説明申し上げます。

教育総務課長。

○(宮地教育総務課長) それでは、日程第3、教育委員会の点検・評価について、資料2を基に主な事項について説明をさせていただきます。

町では、効果的な教育行政を推進するため、教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価を実施し、報告書として取りまとめておりますが、現在、令和6年度教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価結果報告書、こちら令和5年度事業が対象でございますが、こちらの作成を進めております。

それでは、資料 2 の 1 ページをご覧くださいと思います。

点検・評価の対象であります、1 ページから 3 ページにかけて記載しております全 51 事業を対象としております。

次に、飛びまして 18 ページをご覧くださいと思います。

具体的には、こちらの 18 ページの表の一番右側、各年度の点検・評価対象事業でありますけれども、そちらの真ん中に記載となっております、令和 6 年度（令和 5 年対象）と書いておりますが、こちらの黒丸が付いている 17 事業が今回の対象となっております。

4 ページにお戻りいただきたいと思います。

当該点検・評価は、下段に記載のとおり、4 名の外部評価者から点検・評価を受けております。

続きまして、6 ページをお開きください。

ここからは、令和 5 年度の定例会における審議内容等について、記載をしているところでございます。

飛びまして、14 ページをお開きいただきたいと思います。

ここからは、愛川町教育大綱に基づく基本理念等を掲載しております。第 2 次教育振興基本計画の内容に沿った形に掲載をしておるところでございます。

19 ページをご覧くださいと思います。

19 ページから 56 ページにかけまして、本年度の対象となる 17 事業の点検評価の内容となっております。こちらにつきましては、先月教育委員の皆さんにご意見をいただいているところでございます。今回につきましては、教育委員さんからのご意見を踏まえ、教育委員会各課等において教育委員会の考え方をまとめましたので、こちらにつきましてご意見、ご質問がありましたらお願いできればと存じております。

併せて、そのほか報告書全体につきましても、何かご意見ございましたらよろしくお願ひしたいと思っております。

説明は以上です。

- （佐藤教育長） それでは、教育委員会の考え方を中心としたところでのご意見、また、全体を通してのご意見ということでございますので、ご質疑、ご意見等がありましたらお願いいたします。

（発言する者なし）

- （佐藤教育長） では、順番に見ていきましょうか。そのほうがいいですね。

1 番、最初から、1 ページ、これは評価対象ということで、1 ページ、2 ページ、3 ページ、ここは特に問題ない、もともとこれをつくった、評価の段階での項目でございますので、これについてやっていきますので。袖山委員。

○（袖山委員） ちょっと内容とはあれなんですけれども、誤植というか数え間違いかなと思うんですけれども、1 ページの基本方針 1 の（3）、これは小中学校の給食運営事業となっているんですけれども、そうすると右の項目とちょっと合わないかなと思って、恐らく教育課題調査研究の充実という項目になるだろうと思うんですけれども。

○（佐藤教育長） 教育総務課長。

○（宮地教育総務課長） 申し訳ありません、こちらの右側と左側がちょっと合っておりませんので、恐らく（3）の表記が記載ミスだと思いますので、すみません、そちら訂正をさせていただきます。

○（袖山委員） ありがとうございます。

○（佐藤教育長） 訂正の内容は、名称でしょうか。確認ですけれども。

○（袖山委員） 重点課題という項目が 1、2、3、ありまして。

○（佐藤教育長） 教育総務課長。

○（宮地教育総務課長） 小中学校給食運営事業が、1 ページの基本方針 1（3）に記載されていますが、教育課題調査・研究の充実に修正する形になろうかと思います。申し訳ございません。

○（佐藤教育長） では教育課題調査・研究の充実ということで、取りあえず修正をかけたいと思います。

5 ページまでは大丈夫でしょうか。よろしいでしょうか。

では、6 ページからの活動状況、5 年度の活動状況、6 から 10 ページまででございますけれども、気がつかれたこと何かありますでしょうか。

（発言する者なし）

○（佐藤教育長） 特によろしいでしょうかね。ここの部分は。

11 ページから教育委員会の活動ということが入っております。11、12、13 ページ、ここはいかがでしょうか。

（発言する者なし）

○（佐藤教育長） 特にこの辺もよろしいでしょうかね。

次に、14ページからの教育委員会の教育振興基本計画からの資料でございますので、特に内容については大丈夫だと思いますけれども、何か気がつかれたことありましたらお願いいたします。

袖山委員。

○（袖山委員） 同じくなんですが、15ページの基本目標の上のほうの右側、あいかわ子どもいきいき宣言が、「あ・い」、恐らく「か・わ」になると思うのですが、漢字が。

○（宮地教育総務課長） 失礼しました。「あ・い・か・わ」ですね。申し訳ございません。

○（佐藤教育長） 下の説明文のところはちゃんと配置していますね。表のところはちょっと下になっているということで、変更をお願いします。

他にございますか。

17ページ、18ページなんかも。

（発言する者なし）

○（佐藤教育長） よろしいでしょうか。

19ページが今回の評価事業の一覧ということで17項目あります。これについてご意見をいただいたのが20ページからになりますが、まず、ナンバー1、小中一貫教育推進事業、これの21ページの教育委員会の考え方、これについてはいかがでしょうか。

（発言する者なし）

○（佐藤教育長） これもよろしいでしょうかね。

引き続き今年度も小中一貫教育を縦軸に、横軸にはコミュニティ・スクール、あえていうのであれば地域学校協働活動を含めた形で今、取り組んでいるという状況でございます。

それでは、2番の項目についてはいかがでしょうか。23ページになりますかね。

今年度も小学校5年生を引き続きプログラミング教育で取り組んでおりますけれども、少しバージョンを上げて、今年度は今、神奈川工科大学の金井先生にお願いしているところもあるのですが、あわせて、小さい基板を使ったプログラミングということで、子どもたちに小さい基板でそこにいろいろなデータが入る、それを使って新しくいろんなことを挑戦させるという、三栖先生という先生がいらっしゃるのですが、その方にちょっとこの前お会いして、依頼をしているところです。

スポーツレクリエーションフェスティバルのときにも来ていただいて、ブースをつくっていただいて、基板を使ってそのときはサッカーのリフティング、ボールを蹴る、それが何回蹴れるかというのを靴に基板をつけてカウントする。そういうのを、プログラミングを組ん

で活用するなど、いろんな活用方法もあるということをおられましたので、そういうものも取り入れながらのプログラミング教育をこれから進めていけるよう、打合せをしているところです。

いずれにいたしましても、神奈川工科大とのプログラミング教育については、引き続き取り組んでいきたい。小学校の5年生を対象に授業をやっているという状況でございますので、以上ご承知願いたいと思います。

プログラミング教育はよろしいでしょうかね。

次に、ナンバー3、キャリア教育推進事業、25ページ、これについてはいかがでしょうか。

(発言する者なし)

- (佐藤教育長) 職場体験を含めてのキャリア教育ということで推進をしておりますので、引き続きということになります。

梅澤委員。

- (梅澤委員) 今の25ページ、丸の2つ目のところですが、この部分に自己が2つ入ってくるのが少し気持ち悪いなと思いますね。「生徒が個性を含む自己理解を深めていく上で」、あるいは、自己理解の中に個性も含まれるのであれば、「自己の個性や」をカットでもいいかも分からない。

- (佐藤教育長) どうでしょうか。

指導室長兼教育開発センター所長。

- (瀧指導室長兼教育開発センター所長) 自己の個性のところをカットさせていただいて、生徒が自己理解を深めていく上という形にさせていただきます。ありがとうございます。

- (佐藤教育長) では、生徒が自己理解を深めていく上でという表現に変えたいと思います。

他にいかがでしょうか。よろしいでしょうか。

では、ナンバー4にいきたいと思います。

理科教育設備備品購入事業のところ、27ページ。

(発言する者なし)

- (佐藤教育長) よろしいでしょうか。

ナンバー5、インクルーシブサポーター派遣事業、29ページ。

(発言する者なし)

- (佐藤教育長) いかがでしょうか。特によろしいでしょうか。

では、30ページです。不登校対策推進事業費、31ページ。

(発言する者なし)

- (佐藤教育長) 昨年度も校内支援センターのほう、各学校、全学校で取り組んでいただいております。今年度は県費ですけれども、人をつけての運営という形で取りあえず進めているところであります。今ある相談指導教室との連携も含めて、居場所づくりに力を入れていこうということで今年度は取り組んでおりますけれども、令和5年度の状況はここに出ていとおりでありますので、引き続きという形になると思います。よろしいでしょうか。

それでは、7番、学校施設維持管理・整備事業ということで、33ページになります。

(発言する者なし)

- (佐藤教育長) 今後課題になるのは、そこにありますように公共施設個別施設計画の方向性にのっとった形で、今後の学校の在り方について検討していく必要性が出ていますので、またそこについては検討しながら進めていきたいというふうに思っております。よろしいでしょうか。

次に、管理用消耗品購入事業になります。36ページ。

(発言する者なし)

- (佐藤教育長) 特にご意見どうでしょうか。ありますでしょうか。

(「では、1つ」との声あり)

- (佐藤教育長) 梅澤委員。

- (梅澤委員) 36ページ、またの部分の2行目、「ICTによるペーパーレス化」にしたほうがいいと思います。「化」がここに2つある。ICTによる、ペーパーレス化。また、よるの後には読点が要らないかなと思います。「現場のICTによるペーパーレス化を促進するため」と。

- (佐藤教育長) 化を取るということで。

- (梅澤委員) はい。

- (宮地教育総務課長) ちょっとくどい部分がありましたので、化を取って読点も取らせていただいて、ICTによるペーパーレス化というような形にしたいと思います。ありがとうございます。修正させていただきます。

- (佐藤教育長) よろしいでしょうか。

では、次に、公民館の運営事業になります。38ページになります。39ページですね。39ページになります。いかがでしょうか。

(発言する者なし)

○（佐藤教育長） よろしいでしょうか。

（「1つ質問なのですが」との声あり）

○（佐藤教育長） 梅澤委員。

○（梅澤委員） 丸の3番目、W i - F iの利用者に偏りが生じないようにと、これって持ち運び可能なW i - F iの話でしたか。それともフリーW i - F iの話ですか。

○（佐藤教育長） 生涯学習課長。

○（小山生涯学習課長） フリーW i - F iのことです。

○（梅澤委員） はい、分かりました。

一部の人が使ってしまうと、ほかの人が使えないような弱い電波だということですか。

○（小山生涯学習課長） ではなくて、結局のところ長時間使用される方がいられるということなんですけれども、勉強とかをしている来客者もいれば、また、他方では違う利用をしている方もいられるので、そういったことをご指摘される方がいるもので。

○（梅澤委員） 誰かが固定で使うことによって、ほかの方が使いにくい状況であればこのとおりかなと思うのですが、そうでなければ使いたい人が使っているのかなと思うので、確かに課題としては挙げられていたんですが、この3つ目は、私は要らないかなと思うのですが、いかがでしょうか。

○（佐藤教育長） どうでしょう、この問題について。

生涯学習課長。

○（小山生涯学習課長） ありがとうございます。

それでは、利用者に偏りが生じないように削除していただいて、無料サービスであります
が周知に努めてまいりますにとどめたいと思います。

○（梅澤委員） 一方、その後の文章のつながりが難しいですね。

○（佐藤教育長） これ、なくてもいいんじゃないですか。そこを取っちゃうのであれば。

○（梅澤委員） 「利用者が利用しやすいよう周知に努めてまいります。W i - F iについては誰もが利用しやすいよう周知に努めてまいります。」は、なくてもいい気もしますが。

○（袖山委員） ただ、ごめんなさい、私自身もW i - F iあるのを、フリーW i - F iを知らなかったもので、そういう意味では周知してもらいたいというのはあるので、と思うんですけれども。

○（梅澤委員） だとしたら、「W i - F iについては誰もが利用しやすいよう周知に努めてまいります」で、良いかと思います。多くの方がフリーで使うことによって、1人の固定客

が使い過ぎていることが問題になるのであれば、次の課題になるのかなと。

○（佐藤教育長） 生涯学習課長。

○（小山生涯学習課長） ありがとうございます。

それでは、W i - F i については誰もが利用できる、しやすいよう周知に努めてまいりますでよろしいでしょうか。

○（佐藤教育長） そうですね。

他にありますでしょうか。

なければ次にいきます。

子ども会育成事業になります。40ページ、41ページです。

いかがでしょうか。

（発言する者なし）

○（佐藤教育長） 子ども会で110番の家は登録数の目標値って幾つでしたか。600ぐらいでしたか。そこまでいっていない。これ目標値に達していないので、増やすという意味ですよ。

○（小山生涯学習課長） そうです。手元にデータがないので、いま、正確な目標値は申し上げられないのですが。

○（佐藤教育長） そうですよ。確か。

○（梅澤委員） 令和5年段階で645軒の登録があったと同じページに書いてあるので。

○（佐藤教育長） 645ですよ。ということは、目標値は、もう少し大きいですよ。

（「いいですか」との声あり）

○（佐藤教育長） 篠崎委員。

○（篠崎委員） ちょっと今ここで言ってもしょうがないんですけども、こども110当番は、今やっぱりどうしてもお仕事をされているおうちが多いので、増やしていくというのはすごく難しいとっていて、なおかつ今までやってくださった方もどんどん高齢化してしまっているんで、ちょっと転んじやったからバンドエイドを貼ってもらうとか、何かそういう程度の感じならいいんですけども、なかなか行くとしても難しいんじゃないかなというふうに感じます。数を増やしていくというのは。

なので、それぞれの地域に数にあまり差がないように、押しなべて、そうですね、あまりご老人でない方が住んでいらっしゃる場所に設置していただくというような感じで、数を追い求めるというよりは質を追い求めるような感じで進めていって、事業にしたらいんじゃないかなという印象を持ちました。

以上です。

- （佐藤教育長） 一方で、貼ることによって抑止力になるという面もあるので、我が家でもあまり家にいない部分もあるんですが、貼ってあるんです。だから多分これから今おっしゃられるように質を求めていくと、どんどん減っていってしまうので、その辺のバランスが非常に難しいなというのは確かにありますよね。あるんですが、何かその雰囲気というのはとても大事な部分があって、子どもがいつでも駆け込める状況、年間でも件数は非常に少ないはずなのですが、その辺のどっちを取るかというところが、ちょっと悩ましいところでもあるかなという感じもしますけれども。

どうぞ、生涯学習課長。

- （小山生涯学習課長） すみません、ありがとうございます。

こども110番の家のほうにつきましては、毎年なんですけれども、青少年指導員さんをお願いして確認作業をしていただいております。こういう子どもさんの通学路に従って指導員が沿って歩いて、こういうところにこども110番の家があるといいなとか、そういうのを提案していただいております。

つきましては、そういった今、篠崎委員さんもおっしゃっていただいたとおり、指導員さんも地域に精通した方ですので、なるべくそういう高齢者にならないとか、そういったこともちょっとアドバイスを入れながら、調査のほうに取り組んでいければなと考えています。ありがとうございます。

- （佐藤教育長） よろしいですか。

- （篠崎委員） はい、結構です。

- （佐藤教育長） 他にいかがでしょうか。

なければ、次にいきたいと思います。

かわせみ広場事業になります。42、43、44ページです。

篠崎委員。

- （篠崎委員） これに限らず、いろいろな事業について私たちが意見をつらつら書いてしまったのを、とても上手に落としどころをつけて、書いていただいているなという印象を受けております。

その中で多分ここに私の意見、一番最後の丸なんですけれども、例えば、愛川高校の生徒等で教育とか保育にすごく興味のある子たちに、ぜひ参加してもらいたいなという気持ちがあって書かせていただいたので、教育委員会の考え方ということで取組の中に入れていただ

いて、すごくうれしいなというふうに感じています。ぜひこれを実施できるような方向で進めていただければいいんじゃないかなというふうに感じています。

以上です。

(「よろしいですか」との声あり)

○(佐藤教育長) どうぞ。

○(梅澤委員) であるならば、学生という言葉の前に、愛川高校の生徒と具体をうたってしまったほうがいいと思うんです。というのは学校教育法上、学生というのは高校より上の学校カテゴリーのものを指す言葉です。つまり、専門学校生、短大生、大学生、大学院生を指す言葉が学生です

なので確かに愛川高校の生徒さん、興味があるならばありがたいなと思いますし。

○(佐藤教育長) 生涯学習課長。

○(小山生涯学習課長) それでは、先ほどおっしゃるとおりで愛川高校という言葉を入れたいと思います。

○(佐藤教育長) それでは、関心のある愛川高校生などの教育、などを入れておいたほうがいいですね。

○(篠崎委員) ああ、そうですね、はい。

すみません、ちょっと1つ。

○(佐藤教育長) ああ、どうぞ。

○(篠崎委員) 高校って、そうか、高校は選択授業とかで何か保育とか選択することができるのでしょうか。何かうちの子どものところはあっあのですけれども、愛川高校に、もしなかったらよろしくないのかなという、ちょっと気がしちゃったんですけれども。

○(佐藤教育長) でも……

○(篠崎委員) ボランティア。

○(佐藤教育長) いろいろ、うん、ボランティアで協力していただいておりますので問題ないと思います。

○(篠崎委員) はい、分かりました。

○(佐藤教育長) 他にありますか。

では、次にいきたいと思います。

青少年健全育成事業についてです。45、46ページです。

どうでしょうか。

(発言する者なし)

○(佐藤教育長) よろしいでしょうか。

特にないようでございますので、次のP T A活動推進事業、47、48ページです。

いかがでしょうか。

梅澤委員。

○(梅澤委員) 48ページ、1つ目の丸の2行目、指示語、「その」はカットでもいいかなと思います。「工夫を凝らして活動を展開しています」のほうが、すっきりしていいかなと。

続けて、丸の2つ目、I C Tが半角文字で、P T Aが全角文字になっています。どちらかにしてもらったほうが。

○(佐藤教育長) この2点、どうですか。

○(小山生涯学習課長) ありがとうございます。

そのように修正はさせていただいて、半角でしたいと思います。

○(梅澤委員) そうですね。上のP T Aは半角なので、それがよろしいかと。

○(佐藤教育長) その上は大文字になっています。

○(宮地教育総務課長) これ全体を通して半角と全角を、ちょっと統一感を持たせていただきます。どちらかに統一するような形で。

○(梅澤委員) お願いします。

○(宮地教育総務課長) はい、すみません。ありがとうございます。

○(佐藤教育長) 他にいかがでしょうか。

なければ次に行きたいと思います。

続きまして、町スポーツ協会等補助事業です。49、50ページ。

いかがでしょうか。

梅澤委員。

○(梅澤委員) 教育委員会の考え方はよろしいかなと思います。よそのところを言ってしまって恐縮なんですけど、点検・評価委員の意見の上から3行目、S p o r t s A i k a w a、情報誌なので、冊子体なので、これ二重かぎがいいかなと思います。太枠のかぎ。

あと、S p o r t s A i k a w aのS p o r t sとA i k a w aの間に半角スペースを入れたほうがいいかなと。

以上です。

○(佐藤教育長) スポーツ・文化振興課長、いかがですか。

○（井上スポーツ・文化振興課長） ご指摘のとおり二重のかぎ括弧、また、S p o r t s、A i k a w a の間にスペースを入れさせていただきたいと思います。

○（佐藤教育長） では、訂正のほうをお願いします。

よろしいでしょうか。

次にいきたいと思います。

スポーツ推進委員事業についてです。51、52ページ。

いかがでしょうか。

（発言する者なし）

○（佐藤教育長） 特によろしいでしょうか。

では、次にいきたいと思います。

53、54ページの若者たちの音楽祭開催事業についてはいかがでしょうか。

（発言する者なし）

○（佐藤教育長） よろしいでしょうか。

実行委員会形式で進めて、だんだん独立していくような形で指導というか、関わりを持ってやりますので、その方向で今後も進めていくということで考えております。

次に、文化財保護事業についてはいかがでしょうか。55、56ページ。

（発言する者なし）

○（佐藤教育長） よろしいでしょうか。

文化財保護委員さんを中心に、計画的に取り組んでおりますので、引き続き文化財保護に取り組んでいくということになると思います。

以上で17項目、終わりました。これについては確認がしてありましたけれども、11月1日までにもしご意見等があれば、改めて出していただくということでよろしいですね。

事務局をお願いします。

○（前田教育総務課副主幹） 今、確認いただいたところでありますが、またお読みになってお気づきの点等ございましたら、一緒に同封させていただいております意見票、こちらのほうでご提出いただければと思っております。11月1日までに頂ければと思いますので、よろしくお願いいたします。様式につきましては、後ほどメールで送らせていただきますので、よろしくお願いいたします。

以上になります。

○（佐藤教育長） それでは、日程第3、教育委員会点検・評価についてはご了承願います。

◎閉会

- （佐藤教育長） 本日の案件は全て終了いたしました。各委員からご意見等がありましたら
お願いいたします。

（発言する者なし）

- （佐藤教育長） 特によろしいでしょうか。

事務局、ありますでしょうか。

（「大丈夫です」との声あり）

- （佐藤教育長） それでは、以上で10月定例会の議事日程を全て終了いたしましたので、閉
会としたいと思います。ご異議ございませんか。

（「異議なし」との声あり）

- （佐藤教育長） ご異議ないものと認めます。

よって、10月の定例会を閉会といたします。

お疲れさまでした。

なお、次回は、11月26日 9時から201会議室で開催しますので、よろしくお願いいたします。
す。

愛川町教育委員会会議規則第17条第2項の規定により、ここに署名をいたします。

令和6年11月26日

教育委員会教育長

佐藤 照, 明

教育委員会

欠席

教育長職務代理者

教 育 委 員

梅澤 秋久

教 育 委 員

篠崎 美和

教 育 委 員

袖山 浩一

調 整 職 員

池田 茉莉子